

資生堂の日足チャート

# 資生堂続騰し最高値

## 1Q95%営業増益で自社株買い

13万  
円(前  
年同  
期比  
13・  
5%  
増)、  
営業  
利益  
は4  
71  
億4  
4  
00  
万  
円(同  
95・  
3  
%  
増)、  
純利  
益は  
2

14日、週明け  
14日、資  
生堂(4  
911)  
が、続  
急伸  
最高  
値を  
更新  
した。  
18年  
12月  
期の  
第1  
四半  
期連  
結決  
算を  
発表  
、売  
上高  
は2  
60  
37  
億

14日、日本板硝子(5202)がストップ高まで買われ、年初来高値を更新した。18年3月期の連結決算は、営業利益356億6300万円(前の期比19・4%増)で着地。続く19年3月期も4100億円(前期比15・0%増)と2ケタ超の増益を見込み、未定

# 板硝子ストップ高で新値

14日、ソリトン(3040)が急伸。18年12月期の第1四半期連結決算は、売上高37億5600万円(前年同期比19・2%減)、

88億7000万円(同2・1倍)と大幅な増益だった。戦略的に投資強化するプレスリリース領域がグローバルで伸び、主に中国の顧客を対象としてアジア全域でクロスボーダーマーケティングを積極的に実施した日本、中国、トラベルリテールが成長を牽引。同時に自己株式の取得を発表、上限30万株(発行済み株

式総数に対する割合0・07%)、25億円で取得期間は5月14日から18日まで。役員報酬制度におけるストックオプションの行使に充当するため。

# ソリトン43%営業減益

15日、UNITED(2497)が急反落。東証がメルカリ(4385)の上場を承認したことを受け、保有するメルカリ株の一部を売却すると発表した。ただし、メルカリ上場を織り込んで買われてきたことから、正式発表による出尽

# ユナイテッド出尽し感

15日、大末建設(814)が年初来高

# 正直いいさんの株で大判小判

18日の東京市場は続伸。米10年債利回り(4385)の動向に注目です。時

# メルカリの動向に注目

1ドル111円を窺う変化がなければ2万3付ける場面があると思

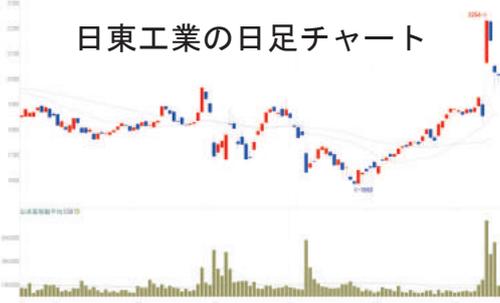
15日、UNITED(2497)が急反落。東証がメルカリ(4385)の上場を承認したことを受け、保有するメルカリ株の一部を売却すると発表した。ただし、メルカリ上場を織り込んで買われてきたことから、正式発表による出尽



# 大末建53%営業増益

15日、大末建設(814)が年初来高

日東工業の日足チャート



15日、日東工業(651)が急騰、東証1部値上がり率(20・3%)トップに立ち、年初来高値を更新した。同社は14日の取引終了後、19年3月期の連結業績予想を発表、売上高は1120億円(前期比3・6%増)、営業利益は70億円(同21・7%増)、純利益は42億円(同45・7%増)と大幅な増益を見込んでいることが材料視された。

# 日東工値上り率トップ

## 19年3月22%営業増益見込む

16日、旭ダイアモンド工業(6140)が大幅反落、年初来安値を更新した。18年3月期の連結決算は、経常利益50億7400万円(前の期比72・3%増)

## 旭ダイヤ急反落し安値

16日、旭ダイアモンド工業(6140)が大幅反落、年初来安値を更新した。18年3月期の連結決算は、経常利益50億7400万円(前の期比72・3%増)と計画を上回り利益が急拡大したが、19年3月期は33億5000万円(前期比34・0%減)と大幅減益を見込んだことから、前期は電子・半導体向け売りが拡大と原価低減効果で収益性が急上昇したが、太陽電池市場の急激な悪化で、電着ダイヤモンドの減損処理を行っている。

グソリユーザーン事業を取得し、電気設計CAD事業会社として、E/CADソリューションズを設立して、この効果が期待される。

16日、最終利益を大幅に減額しており、今期は太陽電池シリコンウエーハ加工用が半減すると見ている。



いま世界で楽しまれているソフトは  
〈トーセ〉かもしれない。

Alaska  
21:20

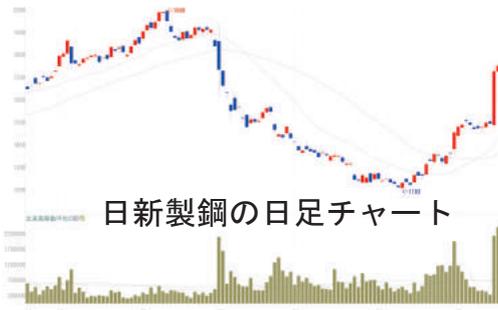
Kyoto  
15:20

New York  
01:20

Cairo  
08:20

トーセは、エンタテインメントコンテンツを開発する  
日本最大級の企画提案型、受託開発企業です。

地球のココロおどらせよう。  
株式会社 **トーセ**



日新製鋼の日足チャート

表したことが材料視  
された。交換比率は  
日新製鋼株1に対し  
て新日鉄住金株0・  
1971株、効力発生日  
は1月1日、同日付  
社株価は12月26日  
で上場廃止になる。  
新日鉄住金は社名を

# 日新製鋼後場急伸

## 新日鉄住金が完全子会社化

16日、日新製鋼(541)が後場急伸。この日、13時30分に新日鉄住金(5413)が株式交換で完全子会社化する

17日、ユー・エム・シー・エレクトロニクス(6615)が急反発。同社は16日の取引終了後、新中期経営計画を発表したことが材料視された。日立製作所(6501)との協業やアジア・アメリカ市場を中心とした多拠点化など、2大消費地への対応、「モノづく

り力」の強化などを推し進め、目標最終年度である2021年3月期に連結売上高2000億円、(18年3月期)1245億円を目標とする。また、今年度の売上高増につながらる期待された。

# UMCエレは新中計好感

16日、ALBERT(3906)がストップ高で、年初来高値を更新した。15日取引終了後、トヨタ自動車(7203)と資本・業務提携すると発表したことがポジティブサブライズとなり、今後

の業容拡大を期待した買いが殺到。自動運転分野でのデータ分析やアルゴリズム、人工知能開発などで連携する方針で、トヨタを引受先として16日、5800株の第三者割当増資を実施する。差引手取概算額は3億9576万円。開発要員新規採用のための人件費に充

# オカダイ環境展

17日、オカダイ(6294)が急伸。16日、5月22日から東京ビッグサイトで開催される「2018NEW環境展」に出展することを発表した。大割圧砕機や鉄骨切断機、スクラップ用カッターなど新商品も含め、多種にわたる商品が展示する予定で、注目が集まっており、今後の販売増につながると期待された。

## ◎株は底値買で大きく取るべし・門外不出の大伸流底値買成功法あり

### ◎日経平均に関係なく最近の底値買指示銘柄例(よくお調べください)(5月14日)

#### (7203) トヨタ 8000円台大予言接近中

◎御存知の如く紙上で3月29日トランプショック暴落の真最中当時6800円前後時8000円台断固買の大予言は5月9日大幅増益の報にて予想の如く一段高7600に上昇中なり(論より証拠)

- 住友不動産 →高値5064円→暴落時2500円前後買→4400円達成、今後は?
- 千代田建設 →高値1164円→暴落時550~600円買→1150円に上昇、今後は?
- 武田薬品 →御存知の如く7兆円買収で6693円買より大暴落中、一段安を待つて断固買
- 楽天 →高値2395円より暴落、大バーゲンセールの大安値断固買

◎当社の基本は大局倍化、当面5~6ヵ月50%高前後目標の投資の王道なり(迷える投資家は試見)

論より証拠・上記の如く底値大幅予想のお試し銘柄をお知らせします。(自信あり)(返信切手1000円要)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員  
**大伸経済研究社** 会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込) 公表銘柄は一例であり全てではありません  
 (会費が高い少数の会員制なり)(広告参照) 目標値は当社独自の分析による予想値です  
 (1年後の成果に自信ありお試ください) (電話等による入会勧誘は一切致しません)  
 電話058-243-5690(午前8:30~11:00) 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。  
 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はここをクリック!](#)

# 物語コーポ値下りトップ

## 4月既存店今年最も低い伸び

17日、物語コーポレーション(3097)が急落、下落率は12%を超え、東証1部値下がりトップとなった。同社は16日の取引終了後、4月の月次売上高を発表した。既存店では前年同月比0.4%増と今年に入り最も低い伸び率となったことで、業績への先行き懸念が高まって

### 太陽光発電関連賑う

17日、レノバ(9519)が急騰、S e h i n g (2437)は一時ストップ高に買われるなど、太陽光発電関連の一角がにぎわった。経済産業省が審議会に示したエネルギー

## 指数系は利食いで臨む

先週の東京株式市場は172円高となり8週連続高となりました。来数は日経平均は変化日を迎えます。1月23日の2万4129円高値から3月26日安値の2万0347円安値までが43営業日数であり、43日対等日柄が5月28日です。ここに向けて上昇継続するならば、今週末には一旦利益確定をしておくところではないでしょうか。

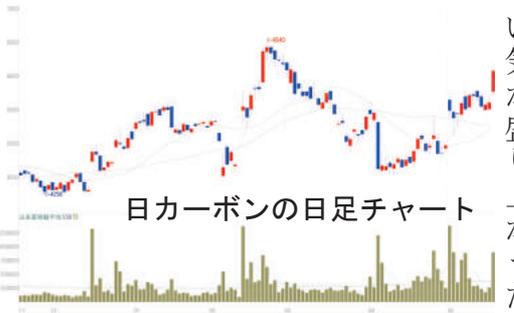
一方、マザーズの週足は4月3週目を底に3週連続上昇の三兵行進後、1週押し目を入れて、先週は下髭の陽線形成で切り返し、前週比8ポイント高となりました。今週は東証一部からマザーズ市場に目を向けるべきではないかと考えます。

ところで、決算発表が一巡しましたが、日経平均予想EPSは1643円にピークから80円程度下がりました。今期は銘柄選択には今まで以上に十分な調査が必要と思われます。

日々勇太郎



## 今週の動意銘柄



日カーボンの日足チャート

## 日本カーボンは続騰

### 黒鉛電極価格高で目標株価引上げ

週末18日、日本カーボン(5302)が続騰。大和証券が黒鉛電極の価格上昇を理由に目標株価を07200円から87000円に引き上げた。同証券では18年12月

期の連結営業利益予想を従来の75億円から127億円(前期比4.9倍)に上方修正。SECカーボン(5304)が連日で最高値を更新していることから買い気が盛り上がった。

基本計画の素案で風力や太陽光などの再生可能エネルギーを主力電源化する方針を明示したことから、関連銘柄に物色。先が向かった。レノバは中心にバイオマス発電など再生可能エネルギー発

ら、関連銘柄に物色。先が向かった。レノバは中心にバイオマス発電など再生可能エネルギー発

電事業を幅広く展開。シンワワイズは新規事業として太陽光発電施設の販売を行う。

## ブライトパスS安

18日、ブライトパス・バ イオ(4594)がストップ安。富士フイルムへ導出したが、今期は新構造製品の取り扱いを強化することで、収益力を強化する。

### ピクセラ買収で4K強化

18日、ピクセラ(6731)が急伸。家電製品企画・製造のA・S t a g eを完全子会社化すると発表したことが買い手掛かりになった。4Kチューナー付きセットトップボックスの直販に注力しており、A・S t a g eの企画力を生かしてブランド力向上や販売力の強化を図る。

### 大真空収益V時回復

18日、大真空(962)が急伸。6月3月期の連結業績

# 日柄は重要岐路近づく

## 年後半に上昇トレンド継続か？

光世証券

エグゼクティブ・マネージャー

### 西川 雅博 氏

外部環境の安定を受け、日本株は戻り歩調を強めている。ただ、日柄面から見れば、年後半の相場を占う上で重要な岐路が近づいているとの認識だ。アベノミクス以降大きな調整局面は、2013年5月のバーナンキショックと15年8月のチャイナショックに加え、今回で3回目。一度目は日経平均で高値から約5カ月後に高値を回復して比較的短期間で堅調相場に戻った。二度目は同じ5カ月後に78%戻り達成後、再び大幅下落相場となり、最安値をつけるまで丸1年かかった。過去の大幅調整相場を見ても高値から5カ月前後で重要な節目を迎えることが多い。高値から5カ月後は6月23日で、78%戻しは2万3350円であり警戒感の出る水準ではあるが、今回はここをクリアして、サマーラリーから年後半に上昇トレンドが継続する前者のパターンになる可能性が高いのではないかと見ている。4月1〜5月17日までの上昇率は日経平均が△6・45%でNYダウの△2・53%を大幅に上回っている。米国の堅調な景気指数とインフレ期待率上昇によって円安の動きが加速したことに加え、日本株の割安感が強まったことが背景にあると考える。実際、4月以降外国人投資家は6週連続買い越し（先物+現物）に転じている。金額は2兆円を超しているが、年初から3月までの売り越し額が9兆円弱であったことから買い余地は大きい。一方、為替相場は円安のピッチが速くやや警戒が必要と見ている。業績相場が続くことを前提として、外部環境の変化に対応した臨機応変なポジション調整が必要であろう。セクターでは出遅れのメガバンク・証券。個別では東京エレクトロン（8035）の押し目買い。



## 相場展望

必要であろう。セクターでは出遅れのメガバンク・証券。個別では東京エレクトロン（8035）の押し目買い。

## 企業レター

### 「ユニバーサル・スペクタクル・ナイトパレード」初公開



先頭フロートに登場したテイラー・ヒルさんと栗山千明さん

USJ

ト・オブ・ハリウッド」を報道関係者へ初公開した。

世界中のランウェイで活躍し、今最も注目されるトップスーパームデルのテイラー・ヒルさんが米国より初来日、ハリウッド大作映画「キル・ビルVol.1」に出演し、国際舞台で活躍する日本人女優のパイオニアである栗山千明さんもパレードに駆け付けた。日米のセレブリティ

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、5月17日のグラランド・オープに先駆けて、「ユニバーサル・スペクタクル・ナイトパレード」を報

「ジュラシック・ワールド」、そしてパーク初登場の「トランスフォーマー」の4つの全く異なる映画の世界が集結。フロートとエンターテイナーだけでなく、絶えず変化し続ける壮大なプロジェクション・マッピングの圧倒的でスペクタクルな空間の中に、それぞれの映画の世界をリアルに再現した。

この「ユニバーサル・スペクタクル・ナイトパレード」には、世界中に熱狂的なファンを持つハリウッドの大ヒット映画を代表する「ハリー・ポッター」をはじめ、「ミニオン」、先頭フロートに登場し、この日だけの豪華共演の姿を披露した。

この日の初公開を祝して

従来のパレードのように、目の前の風景が通り過ぎて変わるだけではなく、ゲストは、名作映画の世界観にどっぷり浸りながら、自分の周りの景色すべてが絶えず激変し続ける空間に360度丸ごと包み込まれ、世界で初めての全く新しい感動を体験する。

## ～決算情報～

### 三相電機

## 増収で大幅営業増益予想 半導体製造装置用ポンプなど堅調

三相電機(6518)は19年3月期の連結業績について、売上高162億円(前期比4.2%増)、営業利益11億円(同24.6%増)、最終利益8億円(同0.2%増)と前期に続いて増収で大幅な営業増益を見込んだ。半導体製造装置用ポンプや産業機械用モータが引き続き堅調に推移、提案型の営業を進めるとともに、エコロジー技術を進化、短納期化やコストダウンを徹底することで収益力を強化する。

18年3月期は売上高155億5400万円(前の期比11.5%増)、営業利益8億8200万円(同29.5%増)、最終利益7億9800万円(同1.1%減増)で着地。関連会社整理に伴う損失計上で、最終段階はわずかながら減益になったが、販売は好調で値上げ交渉も進んだことから、2ケタ超の増収で3割近い営業増益になった。

### タキロンシーアイ

## 半導体装置向け拡大続く 統合効果を追求、M&Aにも意欲

タキロンシーアイ(4215)は5月9日に大阪市北区の本社で決算説明会を開催、18年4月1日付でシーアイ化成と合併したことで前期は前の期との比較はなかったが、19年3月期は売上高で1500億円(前期比1.5%増)、営業利益で86億円(同2.8%増)、純利益で60億円(同8.8%減)と純利益は前期計上した合併に伴う負ののれん発生益の反動から減益となるものの、営業増益を見込んでいる。

大幅な伸びとなっている半導体装置向けプレートが今期更なる拡大が期待される2021年3月期を最終年度とする中期経営計画での連結売上高1800億円達成を目指すべく、東京工場や揖保川事業所の再構築などを含めて積極的な設備投資を推進、南谷陽介社長は「市場競争力の強化と新規事業の創出。統合効果の追求を目指す」とし、M&Aにも意欲を見せる。

### 六甲バター

## 原料調達コストアップ響く 1Q新製品投入効果で販売伸びる

六甲バター(2266)の18年12月期第1四半期(1～3月)単独決算は、売上高121億7100万円(前年同期比6.8%増)、営業利益9億8700万円(同34.0%減)、純利益6億5200万円(同35.3%減)と増収ながら減益で着地した。

家飲みの浸透によるおつまみ需要の拡大と「料理を彩る大きいスライスチーズ7枚入」など新製品投入効果で販売量、販売金額は伸びた。ただ、国内の生乳生産量の減少傾向が続いていることから国産原料チーズ価格が上昇、輸入原料チーズ価格も上昇しており、原料調達コストアップが収益を圧迫した。

通期は売上高515億円(前期比4.3%増)、営業利益39億6000万円(同18.7%減)、純利益27億1000万円(同18.6%減)と従来予想を据え置いた。

### クボタ

## 第1四半期は9%営業増益 欧米、アジアとも需要堅調に推移

クボタ(6326)の18年12月期の第1四半期(1～3月)連結決算は、売上高で4286億2100万円(前年同期比5.9%増)、営業利益で438億9200万円(同9.0%増)、純利益は298億6900万円(同1.5%増)と増収増益となった。

北米では、米ドルに対する円高の影響はあるものの、堅調な需要を背景に建設機械、エンジン、トラクタがすべて増加、欧州では、ユーロやポンドに対する為替改善効果に加え、建設機械も好調を維持し、タイのトラクタが米やキャッサバなどの価格上昇に伴う需要回復により堅調に推移している。

通期は売上高1兆8200億円(前期比3.9%増)、営業利益2130億円(同6.5%増)、純利益1510億円(同12.6%増)と従来見通しを据え置いた。

## ～決算情報～

**大森屋**

### 2Q営業利益は2.4倍に 製品価格値上げと経営効率向上で

大森屋(2917)の18年9月期第2四半期累計(17年10月～18年3月)の連結決算は売上高で88億6000万円(前年同期比6.6%増)、営業利益で2億5100万円(同2.4倍)、純利益で5億2900万円(同8.5倍)と大幅な増益となった。

家庭用海苔で一部製品価格の値上げを実施するなど原料海苔仕入価格高騰によるコスト増を製品価格の値上げによりカバーするべく販売活動を展開するとともに、販売促進費を中心とした経費削減に注力し、経営効率の向上に取り組んでいる。

新製品の拡販効果も期待されており、通期は売上高173億円(前期比3.8%増)、営業利益3億5000万円(同70.7%増)、純利益5億円(同5.5倍)と従来見通しを据え置いている。

**あじかん**

### 今3月期4%営業増益予想 主力製品伸びつくば工場安定稼働

あじかん(2907)の19年3月期は連結売上高で455億円(前期比5.9%増)、営業利益で12億5000万円(同4.1%増)、純利益で8億円(同6.7%増)と増収増益を見込んでいる。

主力製品である玉子焼類や味付かんぴょう・しいたけ類は引き続き安定的な拡大が見込まれているうえ、生産面ではつくば工場の安定稼働を推進するとともに、新業態・新事業に適した商品開発、ヘルスフード事業の拡大加速、海外輸出や中国国内販売の強化を行う。

加えて利益面に関しては、為替相場や原材料価格の動向など不確実な要素があるものの、より一層の原価低減活動に加え、1人当たり生産性の向上、物流体制の最適化を行う方針で、つくば工場の稼働効果を含めて利益拡大に寄与しよう。

**グルメ杵屋**

### 増収大幅営業増益見込む 付加価値品導入しM&A積極化

グルメ杵屋(9850)は19年3月期の連結業績について、売上高407億6000万円(前期比0.7%増)、営業利益6億9200万円(同24.4%増)、最終利益4億4300万円(同46.0%減)と増収大幅営業増益を見込んだ。最終減益は前期に多額の固定資産売却益を計上していたため。

主力のレストラン高付加価値商品の導入と新業態の開発を進め、来店客数の増加を図るとともに、新規出店ロケーションの開発やM&Aも積極化。グループ各社で有望既存事業をブラッシュアップし、生産性と経営効率を高めることで収益力を強化する。

18年3月期は売上高404億7200万円(前の期比2.7%増)、営業利益5億5600万円(同34.9%増)、最終利益8億2000万円(同92.7%増)で着地した。

**江崎グリコ**

### 19年3月期増収減益予想 原材料や為替など厳しく見積もる

江崎グリコ(2206)は19年3月期の連結業績について、売上高3640億円(前期比3.0%増)、営業利益180億円(同11.7%減)、最終利益136億円(同10.6%減)と増収ながら減益を見込んだ。

主力の菓子・食品は1009億円(同1.6%増)、冷菓880億円(同1.0%増)、牛乳・乳製品948億円(同1.3%増)、食品原料は109億円(同1.4%増)、海外531億円(同11.4%増)、その他163億円(同8.5%増)と全部門で増収を計画したが、原材料相場や為替動向、賃金情勢の影響を厳しく見積もった。

18年3月期は売上高3534億3200万円(前の期比0.1%増)、営業利益203億7700万円(同16.0%減)、最終利益152億1600万円(同16.2%減)と卸売販売比率の低下により減益で着地した。

## 潮流

## 先物買戻すヘッジファンド

## 2万3500円までは真空地帯

marKet/bAnk

海外投資家（ヘッジファンド）は4月第1週（2～6日）から5月第1週（1～2日）まで、

現物と先物の合計で1兆8859億円を買い越した。買い越しは5週連続となる。

この間の先物の買い越しは1兆6771億円。同じ期間で日経平均は約1000円上昇した。なお日経平均は3月第4週から5月第2週まで7週連続で上昇している。年初から3月第4週までに海外投資家が売り越した6兆989億円の先物に対し、4分の1強が買い戻されたことになる。それでも依然、5兆円相当の先物の売りが残っている。それに対する買戻しに加え、ここからは新規買いも入り、日経平均は上昇していこう。

5月11日には注目していた節目の2万2684円（1月～3月の下げに対する61.8%戻り）をブレイクした。目先の日足転換線（2万2623円）を下値として、2万3000円台を回復するだろう。2万3000円台前半の節目としては2万3237円（同76.4%戻り）がある。過去の価格帯別出来高状況を見ると2万2500円～2万3000円までが多く戻り売りが出やすい。現在がちょうどその水準だ。2万3000円を超えると2万3500円までは真空地帯で上昇スピードが速まりそうだ。

一方、海外投資家が先物を買戻している間、個人投資家は大幅な売り越

しとなっている。4月からの売り越し金額は1兆811億円にもなる。日経平均が3月26日に2万347円の大底を付けてから2万2800円台まで上昇トレンドを強めているにも関わらず個人投資

家売りは続く。個人投資家は周りの

様々なニュースを捉えて弱気心理が働く。上昇したら売りたいという気持ちが強くなるのは現在保有している株式がマイナスになっているからだろう。

また、日経平均の今期予想EPSは1670円だ。為替レートを1ドル＝105円～107円と円高に想定したためEPSが下がった。しかし、現在、1ドル＝110円台で推移しており、今後、予想EPSが引き上げられる可能性がある。EPS1670円として米ダウ平均のPER16.6倍に換算すると2万7700円となる。

日経平均はかなり割安で日本の株式市場に対して弱気になる必要は全くないのだ。日本の株式市場は先物中心に動いているためヘッジファンドの投資スタンスで値動きが決まる。情けない日本株式市場になったものだ。

潮流銘柄はサイバネットシステム（4312）、クルーズ（2138）、シュッピン（3179）。



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテス「第一回S1グランプリ」

にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>

サイバネット  
の日足チャート



# チャートから読む 騰落銘柄

## セガサミーHD (6460)



5月15日に1947円の年初来高値を更新後に利食い売りで調整、25日線手前では1800円割れで押し目買い対処。19年3月期の18.5%営業増益予想はパッケージゲームの好調から上ブレに期待。

## MonotaRO (3064)



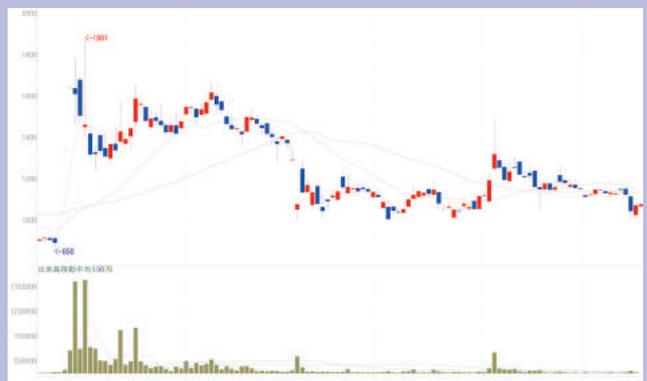
日足陰転を回避、大勢上昇トレンドを確認したあと、5日移動平均を下値支持ラインに鋭角的な上昇局面へ。過熱感はなく、2割営業増益、信用倍率0.51倍の好業績・好取組をテコに一段高へ。

## OTS (4564)



2100円台の揉み合いを経て2000円割れまで売り叩かれる。大塚製薬とのがん治療用ペプチドワクチンに関する契約終了発表で業績への不安高まり、2014年5月に付けた1000円トビ台の安値を意識。

## ケアサービス (2425)



高値奪回目指すも4月4日の戻り高値1487円で頭打ち。乱高下を繰り返しながら下値を切り下げ、週足に続き日足も再び陰転。下値抵抗ラインの1100円を割り込み、一段安へ警戒感強まる。

# 今週の

# 活躍期待銘柄



## 明治HD (2269)

### 新中期計画で攻めの経営

明治ホールディングス(2269)の株価は8700円近辺での揉み合いを経て、上値追いの動きとなってきた。中期的には昨年12月12日に付けた最高値1万7000円奪回を期待したい。5月11日に発表した19年3月期の連結業績は売上高で1兆2600億円(前期比1・5%増)、営業利益で995億円(同5・1%増)と増収増益を予想。同時に発表した「2020中期経営計画」では目標最終年度である2021年3月期に売上高1兆3500億円を計画、6月就任予定の川村和夫新社長のもと構造改革を進める方針で、攻めの経営が評価される。

食品分野の安定した成長に加えて、化血研の主要事業を現物出資などにより承継するKMバイオロジクスを連結子会社化し、バイオ分野への展開も注目される。

### バイオ分野への展開も注目



## 日本電子 (6951)

### 実質ピーク益で連続増配へ

日本電子(6951)は好業績見通し発表を機に、約2カ月におよぶ950円絡みの高値保ち合いを明確に上放れ、一段高を志向してきた。19年3月期は売上高1100億円(前期比5・2%増)、営業利益52億円(同32・4%増)と引き続き増収で大幅な営業増益、最終利益は前期に多額の法人税等調整額を計上した反動で40億円(同11・7%減)と減益見込みながら、この影響を除けば実質ピーク益更新となる。電子ビーム描画装置など半導体関連機器や電子ビーム蒸着用電子銃・電源の伸びが業績拡大をけん引。生産性向上に加え、分析・計測装置を有機的に活用したソリューション提案で収益力を強めていく。

年間配当を9円(前期8円)へ前期に続いて増配を予定。信用倍率は0・28倍を押し上げる。

### 半導体関連機器など伸長

※チャートは日足

# 高野恭壽の 株式情報

# これでどや!!

# 上値窺う状態を維持

## 株式市場新聞の名物コーナーが復活!



**高野恭壽(たかのやすひさ)氏** 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

日経平均は2万3000円を前にして足踏み状態になってい  
ますが、続落が予想されたにも  
かかわらず、17日の東京市場は  
米国株式高、円安に支えられて

寄り付きから堅調な動きになりました。その後もジリ高傾向が続きました。2万2900円に接近すると警戒感から様子見となったものの、2万8000円台はキープし、上値を窺う状態を維持してました。個別では水産で極洋とマルハニチロが反発し、板硝子、旭硝子なども再度上げに転じたほか三井金、東邦鉛が見直され、高くなりま

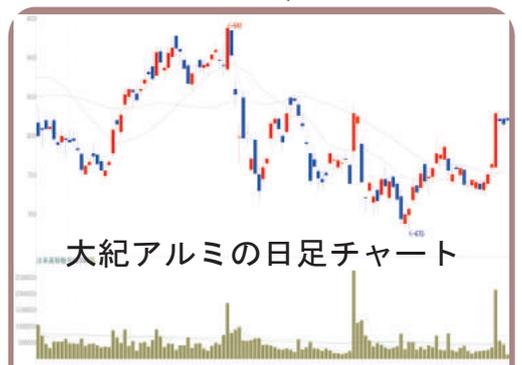
## 新田ゼラ 1000円目指す

した。医薬品も続伸となり、他の銘柄も値を保つものが目立っていません。考えていたほどの下値がみられず、目先的には2万3000円近辺まで上げる可能性もでてきました。当欄で一貫推奨の大紀アルミニウム工業所(5702)は高値圏でのみ合いとなっていて、820円台には戻り待ちの売りが滞留しているために突破が簡単ではないためのもたつきです。しかし、この水準は実力的に見て、はるかに安い水準です。消化して更なる水準に向かうとみています。1000円台乗せを信じて持続あるいは新規買い作戦でいいとみています。

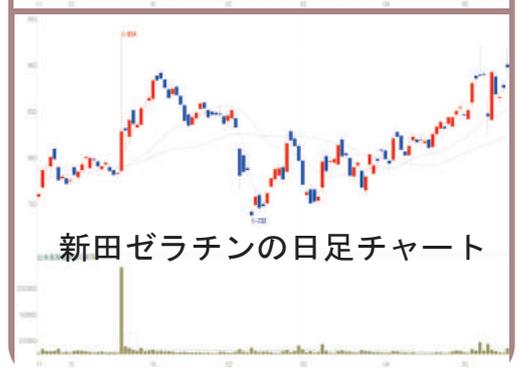
さて、**新田ゼラチン(4977)**ですが、16、17日と様子見の動きになっていましたが、17日大引け後に19年3月期の見通しを発表しました。前期の8億円余りの最終欠損から一転して11億円の黒字を見込む内容でした。

100周年を迎えるために様々な業績を出せないという意欲の表れでしょう。中期計画も強気でいませんでしたので、恐らく、目先的には1000円に限りなく近いところまでの上げるでしょう。それ以後も上げて今週には1000円を大きく突破して1200円台も視野に入っていくことでしょう。長らくお待ちせしました。しっかりと利益を出していただきたいと思えます。

**テックファーム(3625)**もようやくエンジンが、かかり、1700円突破に期待です。



大紀アルミの日足チャート



新田ゼラチンの日足チャート

高野恭壽公式ホームページ  
高野恭壽の株式市場情報  
これでどや!!  
<http://www.kabun-takano.com/>  
毎日情報を配信中!

# 星野三太郎の 株街往来

～長く愛される製品～

年齢

を重ねると、昔の職場の上司や取材先で上場企業の役員だった方々が続々と80歳以上の高齢になつてくる。そのような先輩の方から連絡を頂いて食事に行くことがあるが、その多くで言葉にするのが「終活」だ。終活には遺言を書くことやエンディングノートを書くことなど色々あるが、株好き

の方では保有株を全て売却する相談を受けたことが数人あった。

優待狙いや生活に密着している食品スーパーなど長年保有している株式を元気な間に全て売却したいということだが、現金化した結果に損益がどうなるかは別にして、親友と別れる感じがして勇気がいると語っていたことが印象的だった。

株価の位置が購入時より下でも長期保有すれば累積の配当金額だけかなりの額になるが、ベンチャーのバイオ企業を長期保有して無配と赤字続きで株価も長期下落でかなりの含み損を抱えた方もいた。夢の新薬に期待したが、上場後十年超経過後も明かりが見えないようだ。投資家から夢を託された上場企業には自社の事業運営以外にも目に見えない責任は多い。投資家が後悔しない終活ができるような意識も必要だ。



## 企業レター

### 開発支援サービス開始

#### アプリックス

#### AIアシスタント対応家電

アプリックス(3727)は、スマートスピーカーを使って日本語の音声で家電を操作するための「AIアシスタント対応家電開発支援サービス」の提供を開始した。

今回、提供を開始した「AIアシスタント対応家電開発支援サービス」は、コンサルティング、開発支援、または受託、IoTモジュール(無線LANなどを使って家電がインターネットに接続するために、家電に組み込む小型の基板)の提供などを通じて、顧

客の家電をスマートスピーカーで操作できるようにするもの。

同社は、AIアシスタント対応に必要なIoTモジュール、アプリケーション、クラウドサービスなどを一式まとめて提供することができると、加えてAmazon AlexaとGoogleアシスタントの両方に対応可能という強みを活かして、日本の家電メーカーなどに積極的に提案していく。

これにより、音声で操作でき新しい製品やサービスの早期実現を支援していくとしている。

### イートアンド

## 形成剤で特許取得

### 「大阪王将羽根つき餃子」



羽根つきの餃子

イートアンド(2882)は「水無し・油無しで羽根つきの餃子ができる冷凍食品(餃子羽根形成剤)」に関する特許を今年2月に取得したと発表した。

「大阪王将羽根つき餃子」は、水も油も使わずに簡単に本格的な羽根ができる冷凍餃子として、発売以来、大きな反響を得ている。こ

のパリパリで良好な食感の羽根を消費者に提供すべく同社独自の製法として、商品開発技術の向上に取り組んでいる。

今回、取得した権利範囲は水無し・油無しで調理ができる冷凍羽根つき餃子のレシピ及び製造工程で、この製造工程では未加熱の羽根形成剤に関する配合レシピ(穀物粉、油、乳化剤、水の割合)などとしている。これにより、音声で操作でき新しい製品やサービスの早期実現を支援していくとしている。

敏腕先物トレーラー

# ハチロクの裏話

家は2億9240万円の売  
り越しと売  
買の構図は

## そろそろ仕掛け売りに注意

### 「押し目買いの噴き値売り」で対応

先週の日経平均は高値で探り合い、ジリ高展開となった。米長期金利が2011年7月以来の3・1%台に落ちてきており、米金利上昇に伴い円安が進み、110円台後半まで円安が進んだことも日本株の下値を支えたようである。

ただ、先週の日経平均の△2.6は2万3050円、現在は5日移動平均線に沿った動きとなっており、大きく乖離したときは注意が必要である。

現在のヘッジファンドの売りコストは2万2300円台と見られており、現在の水準であれば大きな評価損を抱えているとみられ、6月のSQに向けて売り仕掛けを狙っていると思われる。投資者心理的に達成感を感じたい。

（ハチロク）

高安は約1%、先々週が1.27%なので、さらに値動きが乏しくなってきた。決算発表が続いていたため、指数よりも個別銘柄の物色意欲が強いためと思われるが、日経平均の日の動きは小さかった。

東証が発表した5月第2週の投資家別株式売買動向をみると海外勢は1156億円の買い越し、個人投資

家は2億9240万円の売  
り越しと売  
買の構図は

ほぼ変わっていない。今週の相場は円安傾向を背景に基本的にはしつかりした展開を想定する。ターゲットとして2万3000円台が意識されるが、2万3000円に乘せた時の動きに注意したい。

2万3000円は可能性もあり、2万3000円に乘せた後、2月24日の窓埋め2万3122円45銭を目指すのか、達成感で売られるのかを注意して見たい。ボリンジャーバンドの△2.6は2万3050円、現在は5日移動平均線に沿った動きとなっており、大きく乖離したときは注意が必要である。

現在のヘッジファンドの売りコストは2万2300円台と見られており、現在の水準であれば大きな評価損を抱えているとみられ、6月のSQに向けて売り仕掛けを狙っていると思われる。投資者心理的に達成感を感じたい。

（ハチロク）

日経225先物日足チャート



## 今週のスケジュール

- 21日 4月貿易統計(8:50)  
4月首都圏新規マンション発売(13:00)  
米4月シカゴ連銀全米活動指数(21:30)
- 22日 20年国際入札  
米韓首脳会談
- 23日 3月全産業活動指数(13:30)  
米4月新築住宅販売件数(23:00)  
5月1・2日開催のFOMC議事録
- 25日 独5月Ifo景況感指数(17:00)

## 編集後記

ゴミマンションがひそかに社会問題化している。変人が住むゴミ屋敷で近隣住民が迷惑するケースは、ゴミマンションの住人は現役世代のごく一般的な社会人、もともと整理整頓をきっちりしていた人も陥る一種の現在病らしい。仕事のストレスや配偶者との死別など何らかのショックをきっかけに片づけができなくなり、一歩進むとうつ病、孤立死に至るケースもあるという。ここから抜け出すにはまず誰かに相談すること、株なら塩漬けを解消するのと同じ。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被りたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。